

俳句部分は
やさしくめに

ひとりひとは小娘むすめにて、名なをかさねと云い。聞きき

なれぬ名なのやさやさしかりければ、
曾良

かさねとは八重やへ撫子なでしこの名な成なるべし

一般

段級

【奥の細道】
一人は小さい女の子で、名前をかさねという。聞きなれない名前が優美に聞こえたので「かさね」というのは（花で言うならば）八重撫子の名といったところであろう 曾良

